

令和 8 年度第 1 回碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和 8 年 5 月 3 0 日（土） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 4 0 分まで

2 場所

碧南市民図書館 2 階会議室

3 出席者及び欠席者

- (1) 出席者 清水裕之（委員長）、伴野義雄、靱山勝人、石川善博、杉浦あさの、
- (2) 欠席者 熊谷祥子、生田和重
- (3) 事務局職員 教育部長 岡本和雄、生涯学習課長 金原厚夫、生涯学習課生涯学習係長 竹内みほ子、生涯学習課生涯学習係主事 古賀葵
- (4) 指定管理者 エリアワン株式会社 事業運営部統括マネージャー 井上宗一郎、芸術文化ホール館長 墨泰岳、芸術文化ホール副館長 浜島理恵

4 傍聴者 なし

5 議題

- (1) 碧南市芸術文化ホール指定管理に関する点検評価について
- (2) 令和 7 年度事業報告及び点検評価

6 議事の要旨

- (1) あいさつ（清水委員長、委員及び事務局）

(2) 議題

ア 碧南市芸術文化ホール指定管理に関する点検評価について
事務局が会議資料に基づき、点検評価について説明した。

＜主な意見・質疑＞

なし。

イ 令和 7 年度事業報告及び点検評価

指定管理者が会議資料に基づき、令和 7 年度事業報告について報告した。その後委員による点検評価を実施した。

<主な意見・質疑>

【A委員】：資料4ページの利用率が前年度よりも減っている点について、この減少傾向は徐々に現れているものなのか、あるいは令和6年度から7年度にかけて急激に減ったのか。今後の展望も含めて教えていただきたい。

【A指定管理者】：全体的な傾向としては、資料3ページの「区分別稼働率」を見ると、令和3年度はコロナ禍の影響が色濃く残っていたが、その後回復した。しかし、直近では逆に減少に転じている。

特にエメラルドホールのピアノ練習利用の落ち込みが顕著である。月次で見ると、昨年9月以降、利用が毎月減少している状況。音楽主体のコンサートホールとしての利用、特に個人によるピアノ練習がトレンドとして減少している点は危惧している。

【B委員】：エメラルドホールの貸館利用が減ってきたとのことだが、録音を目的とする利用も減っているのか。

【A指定管理者】：録音利用について、名古屋、東京からの利用者には引き続き利用していただいている。地元の方の利用がかなり減っている印象。

【C委員】：エメラルドホールの個人利用（ピアノ練習）について、これまで年間でどの程度の件数があったのか。

【A指定管理者】：10名以上を団体利用、それ以下を個人利用としてカウントしており、地元のピアノ教室の先生がホールのピアノで練習させたり、コンクール前の調整に使われたりするケースが多い。具体的な件数は精査が必要だが、その個人利用が例年より減っていると思われる。

【D委員】：貸館利用が減っている点について、自主事業が増えているということも一つの要因ではないか。自主事業が土日に集中してしまい、貸館が減ってしまうことは他館でもよくあること。ドラマシアター等、平日開催であってもかなりお客さんが入っているようなので、全体のバランスを考慮しながら、平日に事業展開を増やし、土日は市民の方に使ってもらおうと良いのでは。

【A指定管理者】：今後、自主事業について可能なものは平日に行うようにしたい。あるいは、一般の予約が落ち着いた後、空いている土日を使用するよ

うに心掛ける。

【E委員】：自主事業が多いとのことだが、芸術文化ホールのPRにはなったように思う。今後、平日に開催する等調整していければよい。

【D委員】：資料6ページの消耗品費で、電球などの費用が上がっているようだが、これは電球代の高騰によるものなのか、それとも球切れが増えたためなのか。舞台照明のLED化の進捗についても教えていただきたい。

【A指定管理者】：昨年度時点で電球の値上がりは特に認識していない。年度末に予備という形で調達したことが一つの要因と考える。

【事務局】：今年度ホールを除くすべての照明のLED化工事の予定をしている。ホールについては、今後市の計画に合わせて考えていきたい。

【C委員】：非常に充実した企画を数多く実施しているが、職員の負担はどうなっているのか。

【B指定管理者】：館長はじめ常駐職員だけでなく、パートタイムスタッフの稼働時間を増やしたり残業が発生している部分もあるが、お互いに助け合いながら業務の効率化を徹底するよう努めている。

【C委員】：持続的に現在の運営を行っていくためには、館長個人の知識や経験を他の職員にも共有していかなければならないのでは。

【D委員】：旅費の支出が減っているが、研修や視察に出ることを控えたか。。

【B指定管理者】：昨年度、文化庁の講師派遣事業の支援をいただき、講師の方に芸術文化ホールにお越しいただいて研修していただく等研鑽には取り組んでいる。新たに加わったスタッフにもノウハウを共有し、組織として持続可能な体制を構築していけるよう努めている。

【C委員】：資料88ページ、文化庁の劇場音楽堂等機能強化推進事業不採択について、採択されるためには相当ユニークな企画をしなければならない。頑張っていたきたい。

また、職員の負担について、市民参加型の実行委員会を上手く展開し、ベイビーシアターやモーニングコンサート等をバトンタッチしていくというのも一つの方法だと考える。

【A委員】：ベイビーシアターやモーニングコンサートなどの広報について、SNSの活用状況や戦略を教えていただきたい。

【A指定管理者】：SNSについては、有料広告とオウンドメディア（無料発信）の2本立てで運用している。中でもベイビーシアターは碧南市の公式LINEに掲載していただいた。市のLINEには比較的チケットが安価なもの、あるいは無料のものを中心に掲載し、チケット代が高い公演については有料広告を出している。また、ターゲットをセグメントしてアプローチするなど試験的な取り組みを始めた。今年度内部で運用できるように担当を置き、一層強化していきたいと考えている。

【A委員】：たんぽぽニュース等の紙媒体はいかがか。

【A指定管理者】：広く周知する媒体としては有効ではあるが、新聞を取られている世代が対象であるため比較的高い年齢層になってくる。

(3) その他

今後の指定管理者審査委員会日程について

11月28日土曜日午後2時より、第2回指定指定管理者審査委員会を開催。